

**2025 年度 開業臨床心理士協会主催 第 26 回心理臨床セミナー****【テーマ】「開業心理臨床における生々しさ・不安・空想について」**

昨年度の当協会主催心理臨床セミナーでは「部分開業の実態と課題、そして展望を語り合う」をテーマに、各地で開業実践をおこなっている心理臨床家に事例提示及び話題提供頂き、様々な開業実践の在り方について触れ意見交換した。その中で開業実践におけるセラピスト／クライアント関係における「生身」「むき身（殻が取り去られ状態）」性ともいえる感覚が浮かび上がってきた。

そこには開業臨床特有の要因が重なり合っていると考えられた。プライベートな空間であるが故のクライアントの内的対象関係の展開しやすさ（転移・逆転移、エナクトメント）、相談室の建物・部屋・調度品・ホームページといった外枠の構造にセラピスト自身の内面が映し出されやすいという構造の要因、そして、ひとり開業の孤立感、開業心理士として社会的、経済的に成り立っていけるのかというセラピスト側の不安等である。また、金銭の授受にまつわるやりとりや生々しさ（そこにはセラピスト側の欲望や不安も関わってくる）は開業臨床の大きな特徴といえるが、これまで表立って語られる機会は多くなかったといえよう。こうした様々な要因により、セラピスト／クライアント双方にとって、欲動や不安が喚起されやすく、「むき身」性ともいえる、「生身」「生々しさ」を伴う様相が展開しやすいいえるだろう。

一方でこうした特徴により、開業臨床という構造は、より無意識に触れ展開しやすい場ともいえ、それが大きな醍醐味ともいえる。そして、セラピスト側に喚起される生々しさや不安に目をつぶることなく持ち堪え客観視する視点や研鑽がより必要にもなってくる。加えて第三者性に欠けやすく、セラピスト／クライアント関係が自己愛的関係性へと陥りやすい構造にあることの自覚も必要である。そうした点でも研修や他の開業実践の専門家との交流は必要といえる。

今年度のセミナーでは、開業心理臨床における「生々しさ・不安・空想」についてテーマにし、セラピスト／クライアント関係の視点、セラピスト側に浮き彫りとなる不安や課題、必要な研鑽について、皆さんと検討できればと思う。

**開催日** 2026年2月11日（祝日；建国記念日）

**会場** 名古屋駅前「ウインクあいち」1204室（会場と Zoom によるハイブリット開催）

**参加費** 5000円（守秘義務のある専門職：臨床心理士、公認心理師、医師等） 3000円（大学院生）

**【プログラム】**

受付9時40分～

**午前の部：10時00分～** 会長挨拶 浅井真奈美（小泉心理相談室）  
 事例検討会 司 会 斎藤 渉（心理療法オフィスさいとう）  
 事例提供 山村 真（くわな心理相談室）  
 「外傷性逆転移を持ちこたえるために（仮題）」

助 言 小泉規実男（小泉心理相談室）

休憩：12時30分～13時30分

**午後の部：シンポジウム** 司 会 早川すみ江（日本福祉大学・小泉心理相談室）  
 シンポジスト 篠原 京子（びわ湖こころの相談室）  
 村上由紀子（楓の木・心理相談室）  
 人見健太郎（みとカウンセリングルームどんぐり）

指定討論者 鈴木 誠（くわな心理相談室）  
 平井 正三（御池心理療法センター・NPO 法人子どもの心理療法支援会）

全体討論

16時50分 閉会の挨拶 浅井真奈美（小泉心理相談室）

申込方法；セミナー参加を希望される方は、①氏名、②住所、③電話番号、④メールアドレス、⑤所属と職種、⑥臨床心理士資格の有無と臨床心理士番号、⑦Zoom 参加希望の有無、⑧当セミナーをお知りになった経緯を明記の上、メールで事務局までお申し込み下さい。折り返し仮受諾書返信と共に参加費の振込先をお知らせします。参加費の銀行振込の確認が出来た方には、後日、Zoom の ID とパスワードを事務局よりメールにてお伝えします。また、日本臨床心理士資格認定協会への一日研修申請を予定しています。

事務局；〒446-0031愛知県安城市朝日町2-1 電話&FAX；0566-77-5412 mail；[koizumi@b274.blowth-net.co.jp](mailto:koizumi@b274.blowth-net.co.jp)

※当協会へのご入会を検討されている方は、HP を参照の上、事務局までお問い合わせ下さい。